

閉会中の調査報告

## 産業経済常任委員会

日時：平成 28 年 5 月 13 日(金) 13:25～16:29

出席者：委員長	栗津寛三
副委員長	松井圭子
委員	矢野進次
委員	赤祖父裕美
委員	加藤貞一郎
議長	松原栄樹

### 調査事項

- ・ 湖南省の水道施設について（現地調査）

説明員：上下水道部長、上下水道部次長、上下水道施設課長

99.9%の普及率である水道の大半を県に依存をしているのが湖南省の現況であるため、委員会として朝国受水池と雨山高区配水池・ワンワン山配水池を、また、自己水源である東河原浄水場の各水道施設の現地調査をおこない説明を受けた。

調査の後、委員会室において質疑応答。

主な質疑応答は以下である。

問 古い施設もあるが今後の課題や方向性について。

答 改築更新費用を賄うために平成 26 年に料金改正をしたが水需要が減っているため料金収入も減少の傾向にあります。今後も施設の効率的な更新を図るための計画に努めたいと思っています。

問 宮の森受水場の廃止時期はいつか。

答 造成中の夏見配水池が平成 30 年に完成し、それから管の敷設等を行いますので、平成 32～33 年の予定です。

問 大規模地震等で給水が停止した場合の対策について。

答 各配水池において常時容量の 7 割を確保し給水を繰り返して運転をしてい

ます。雨山高区配水池を例に説明をしますと、緊急時には遮断弁を止めることで6,000人×10日の飲料水の確保が可能となります。

問 既存の老朽化した施設に多額の改修費用が見込まれるが概ねの試算額はどれくらいか。

答 現在準備金として6億円程度ありますが、さまざまなことを考慮すると12億円は必要と考えている。収益の減少もあり効率的な改修を考えていきます。



△雨山高区配水池



△東河原浄水場



△朝国受水池



△ワンワン山配水池

その他

- ・ 湖南省地域新電力会社の設立について（進捗状況）

説明員：市民環境部長、市民環境部次長、地域エネルギー課長、地域エネルギー課主幹

市外流出している電力料金を市内に還流させ、エネルギーと経済の循環促進により地域経済の活性化を図ることを目的とし、市内における自然エネルギーの普及促進と市施設や市内企業、家庭における電気料金削減を目指している。

当該株式会社は湖南省商工会内に設置し、資本金 900 万円、出資者は湖南省・パシフィックパワー(株)・湖南省商工会・西村建設・甲西陸運・美松電機・タカヒサ不動産・滋賀銀行で平成 28 年 5 月 31 日設立、10 月に供給を開始する。

主な質疑応答は以下である。

問 株式会社として事業を行うとあるが赤字決算ということはないのか。

答 調達が難しいからと無理をして高い電力を買わなければ赤字になりません。

問 一般家庭が新電力会社に売電は可能か。

答 平成 29 年より実施の予定です。

問 営業活動についての方針は。

答 新電力会社や湖南省として PR をしていきます。また、商工会において会員企業に働きかけてもらうことで普及させていきたいと考えています。